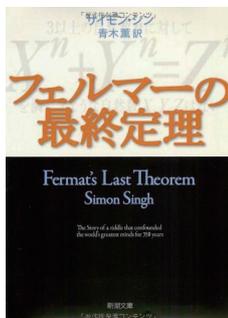


読書に損なし！

八戸工業高等専門学校 マテリアル・バイオ工学コース 准教授 新井 宏忠

テレビなどの映像作品に比べて読書は華やかさに欠けるイメージがあるかもしれませんが、しかし、読書は活字を読み、自分の頭で考えて想像する能動的な活動だと思います。これはテレビなどの映像とは大きく異なるところで、心の豊かさや知識、論理性や思考力を身に付けられます。人生の優秀な勉強法で、「読書に損なし」と感じています。とはいえ、小難しいことは考えずに、まずは「おもしろそう」と思ったものをジャンル問わずに楽しんで読書しています。いつもと違ったジャンルの本との出会いになればと思い、おもしろい、ためになったと思った本を紹介します。



フェルマーの最終定理

サイモン・シン

かの有名なフェルマーの最終定理がどのように証明されたのか。数学の専門書ではなく、それが証明されるまでの過程を、様々な登場人物を交えて筆者の卓越した文章力で表現した数学ドキュメンタリーです。数学的な内容も平易に説明されており、数学が苦手な人も楽しく読めると思います。著者は他にも科学ドキュメンタリー作品を執筆しており、そちらもおすすめです。



論文捏造

村松 秀

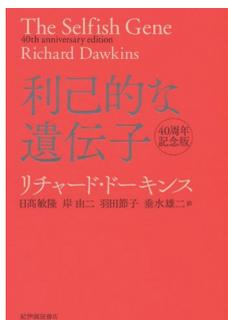
捏造についてのニュースが世間を騒がせることがあります。本書は大きな捏造事件となった「シェーン事件」を取材しています。なぜ捏造をしたのか、なぜ捏造に気づかなかったのか、なぜ捏造が発覚したのか。著者の綿密な取材に基づくドキュメンタリーですが、捏造が明らかになっていく過程はフィクションではないかと思えるほど劇的なものでした。研究者の一人として、考えさせられた本です。



フューチャー・イズ・ワイルド

ドゥーガル・リクソン

未来にどのような生き物が進化しているのか。科学的考証をもとに解説されており、CG画像とともに読むと想像が膨らみます。人類の未来はどうなっていくのか、環境はどのようになるのか。もはや自分は生きていないはるか未来の話ですが、過去にも未来にも、人の思考は旅立えます。生き物好きの方は是非。



利己的な遺伝子 40周年記念版

リチャード・ドーキンス

初版から40年以上が経ち、遺伝子分野では「古典」のような本です。これが書かれてから新たな事実が判明し、更新されるべきこともあります。この「遺伝子」によって動物の社会性や行動を説明する、非常に影響力のある科学書です。情動は単なる遺伝子の働きによるものなのか。世界の見方が変わります。



ゾウの時間ネズミの時間 サイズの生物学

本川 達雄

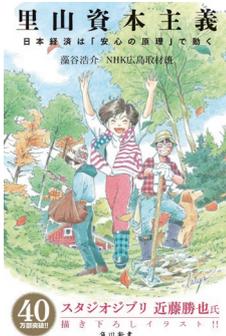
動物のサイズによる違いは何か、そこに法則性はあるのか。生物を統一的に扱うのは難しいように思いますが、そこには単純な法則性があることを本書は明瞭に示しています。私の専門である移動現象論にも通ずるもので、言わば生物の「無機質的」な合理性、機能性に感心します。



人はどのように鉄を作ってきたか 4000年の歴史と製鉄の原理

永田 和宏

私の専門は「鉄づくり」ですが、筆者は長らく同分野の研究に従事し、その知識、経験を生かして現在はたたら製鉄の研究に従事されています。古代、鉄づくりは国家の盛衰にも関わる戦略物資であり、歴史に影響を与えてきました。また、現代生活においても欠かせない先端材料であり続けています。鉄づくりと一言でいっても、そこには様々な技術が込められています。鉄の魅力、その一端に触れてみませんか。



里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く

藻谷 浩介

かつてはよく見られた里山。それに再び目を向け、里山を使った新たな取り組みを取材しています。とかく、グローバルに、経済的に、と考えることが多い中、地域単位でその土地に合ったことをする。その地域でできることをする。この点に技術者・研究者の端くれとして「目から鱗」でした。



環境危機をあおってはいけない 地球環境のホントの実態

ビョルン・ロンボルグ

環境問題が年々大きく取沙汰されています。筆者は元々環境保護推進者でしたが、そのために様々な環境問題を調査する過程でこの考えを改めざるを得なくなりました。環境問題は楽観視できるものではありませんが、感情的にならずにきちんとしたデータと論理的な考察から、できることは何か、何を優先すべきか、世に溢れる情報に流されずに「自分で考え、真偽を確かめる」ことの重要性を教えてください。



壬生義士伝 上・下

浅田 次郎

「武士」として見苦しい姿を見せつつも、己の義のために生きた姿。生きるため、家族を支えるために、新選組に入隊して激変の幕末に身を投じた姿。そしてなぜあのような最後を迎えざるを得なかったのか。一を徹して生きることの難しさ、潔さを感じました。映画化もされていますので、こちらも是非。



蝉しぐれ 上・下

藤沢 周平

幼い頃に権力闘争に巻き込まれて父を亡くし、そして自分も政変に巻き込まれていく。主人公の友情、忍耐、忠義、慈愛など、慌ただしい世の中で見失いがちなものを思い起こさせてくれた作品です。映画作品もおすすめてです。

八戸工業高等専門学校
産業システム工学科 マテリアル・バイオ工学コース 准教授

あらい ひろただ
新井 宏忠

専門：金属生産工学、移動現象論
本校にて主に金属材料に関する授業を担当しています。
研究内容：金属をきれいにし、高機能な材料を製造する研究に取り組み中です。



ハブブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

〒031-0033 青森県八戸市六日町 16-2 Garden Terrace 1F
TEL 0178-20-8368 web <https://8book.jp/>